

本書において、誤記がございましたのでお詫びの上、訂正させていただきます。

頁・番号等	正	誤
<p>43頁 解説 8 荷造り 縦方向の層数 n の算出式 (分子「W」⇒「h」)</p>	<p>ドラムは原則、金属製ドラムを使用することとし、ケーブルの標準最大巻き付け長さは次式より算定した。</p> $L=N \cdot n \cdot \pi \{d + \beta \cdot n \cdot \delta + m\} \times 10^{-3} \text{ (m)}$ <p>ただし <math>N = \frac{W}{\delta + m}</math>    <math>n = \frac{W}{\beta (\delta + m)}</math>    <math>h = \frac{D - d - 2g}{2}</math></p> <p>ここに、L：最大巻き付け長さ (5m 単位で切捨) (m)                      N：横に並ぶ数 (小数点以下切捨)                      n：縦方向の層数 (小数点以下切捨)                      h：巻かれたケーブルのみかけの長さ (mm)                      δ：標準ケーブルの外径 (mm)                      m：ケーブル外径に対する余裕 (mm)  <math>50 &lt; \delta \leq 75</math> の場合    m=1.5 (mm)  <math>\delta &gt; 75</math> の場合    m=2.0 (mm)</p> <p>D：ドラムつば径 (mm)                      d：ドラム胴径 (mm)                      W：ドラム内幅 (mm)                      g：ドラム巻隙 (mm) (トリプレックス g=100mm, 単心 g=55mm とした。)                      β：縦方向の係数 (β=0.95 とした。)</p>	<p>ドラムは原則、金属製ドラムを使用することとし、ケーブルの標準最大巻き付け長さは次式より算定した。</p> $L=N \cdot n \cdot \pi \{d + \beta \cdot n \cdot \delta + m\} \times 10^{-3} \text{ (m)}$ <p>ただし <math>N = \frac{W}{\delta + m}</math>    <math>n = \frac{h}{\beta (\delta + m)}</math>    <math>h = \frac{D - d - 2g}{2}</math></p> <p>ここに、L：最大巻き付け長さ (5m 単位で切捨) (m)                      N：横に並ぶ数 (小数点以下切捨)                      n：縦方向の層数 (小数点以下切捨)                      h：巻かれたケーブルのみかけの長さ (mm)                      δ：標準ケーブルの外径 (mm)                      m：ケーブル外径に対する余裕 (mm)  <math>50 &lt; \delta \leq 75</math> の場合    m=1.5 (mm)  <math>\delta &gt; 75</math> の場合    m=2.0 (mm)</p> <p>D：ドラムつば径 (mm)                      d：ドラム胴径 (mm)                      W：ドラム内幅 (mm)                      g：ドラム巻隙 (mm) (トリプレックス g=100mm, 単心 g=55mm とした。)                      β：縦方向の係数 (β=0.95 とした。)</p>